こころ便り

第276号
令和5年3月

〒679-4343
兵庫県たつの市新宮町大屋六六八-十二
株式会社 新宮運送グループ
代表／木南 一志
kiminami@shingu.co.jp
電話 0791・75・1212

新宮運送ホームページ

誇りある仕事を

ようやく春を少しは感じられる陽射しとなってきました。花粉症の方々にとっては辛い時期がやってきました。そのうえマスクを外せという予告まで出ていますから大変です。コロナ明けという時期が近づくにつれて、以前とは全く違う価値観が生まれて常識化されていくように思えます。

ロシアは言うに及ばず、中国、北朝鮮からの攻撃から身を守ることは具体的に示されないまま緊張感が高まってきています。それぞれの国が自分を守ることばかりを優先していくさまは、どこかで見たことのあるような自分さえ良ければいいという官僚主義のように思えてなりません。

税金を安くする方向へは進まず、補助金を配って国民を誘導する。国家が安定に向かうのではなく、仕組みばかりを新しく作り出していくことで公務員の需要が膨らんでいくという流れです。国家の生産性は上がらず、緩い雰囲気の中で適当に仕事をやっていれば国が金をくれるという習慣になっていきます。現場で汗することをしなくなった国家が、いとも簡単にくずれていくということをローマ帝国が実例として示しています。

自国の歴史も教えない、知らないからと学ぼうともしない。

公営の仕事であった郵便、道路公団、鉄道などが民営化された結果どうなったか。普通郵便は極端に遅くなり、確実性もなくなりました。高速道路には草が伸び放題となり、舗装路面も整備されない。JRは遅れるのが当然になって安全神話は崩れ去った。民営化によって失われていく誇り。

今の自分の仕事に誇りがあるかと問い掛けたい。自分の総力を挙げて取り組んだ作品になっているという誇りが、どんな仕事にもあらゆる分野で光り輝く仕事が我が国の中にはあったはず。

昔は良かったなどと言っているのではありません。

仕事というのは、人間が唯一、他の生き物と違う存在を示す価値あるものと、私は捉えています。誇りある仕事を、自慢できるほどの心を込めて実行すれば、世の中は闘いから思いやりの心へと変わり始めると信じています。

自分を育てるのは自分。

誇りを持って、お互いに努力してまいりましょう。

被災地にこころを寄せながら

木南　一志　拝

尋常小學國史　上卷

第三　日本武尊（やまとたけるのみこと）　②

東國に向ひたまふ

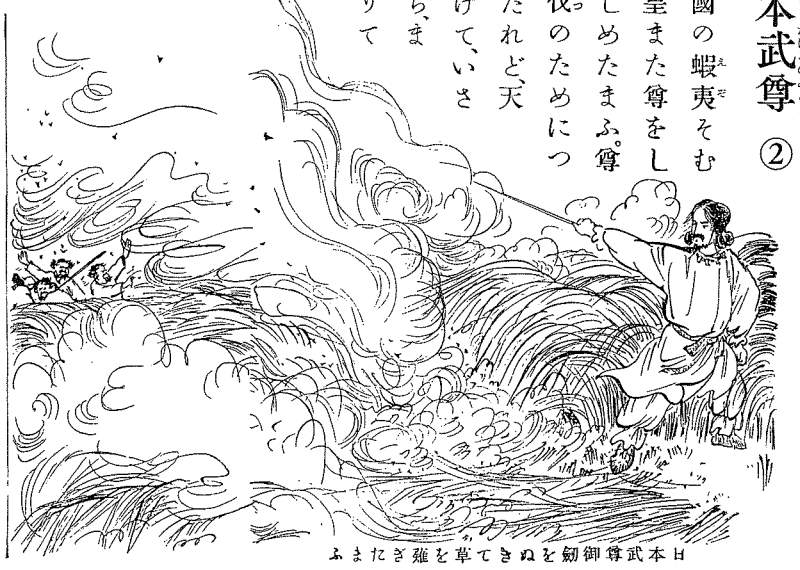
其の後、東の國の蝦夷（えみし）そむきしかば、天皇また尊をして之を討たしめたまふ。尊は熊襲御征伐（くまそおんせいばつ）のためにつかれたまひたれど、天皇の仰をうけて、いさみて都をたち、まづ伊勢に至りて皇大神宮を拜し、天叢雲劍をいただきて、東國に向ひたまへり。

尊の駿河（するが）に至りたまひし時、其の地のわるものども尊を欺（あざむ）きて、鹿（しか）がりせんとて野原の中にみちびきたてまつり、四方より草をやきたてて、尊を弑（しい）したてまつらんとせり。尊御劍をぬき草を薙（な）ぎはらひて、ふせぎたまひしに、わるものどもは、かへつておのがつけたる火にやかれて、ことごとくほろぼされたり。これより此の御劍を草薙劍（くさなぎのつるぎ）と申すこととなれり。

草薙劍

尊これより軍を東に進めたまひしが、蝦夷どもは、みな御勢（おんいきほひ）におそれ、弓矢をすてて降参（こうさん）せり。かくて尊は常陸（ひたち）地方に至り、國々を平げて、大和にかへりたまはんとせしが、途中にて病にかゝり、つひにかくれたまへり。

東國の蝦夷を平げたまふ


日本武尊御劍を草薙ぎはらひたまふ

つづく

NPO法人　愛ランド様の協力で障害を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせていただいております。